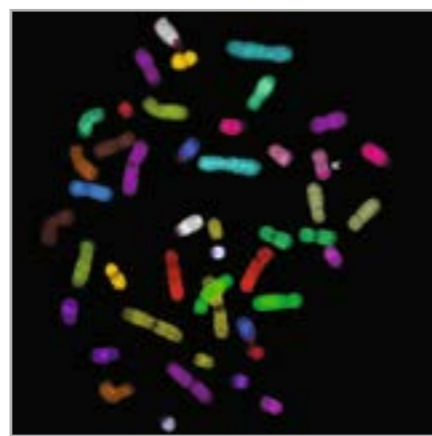
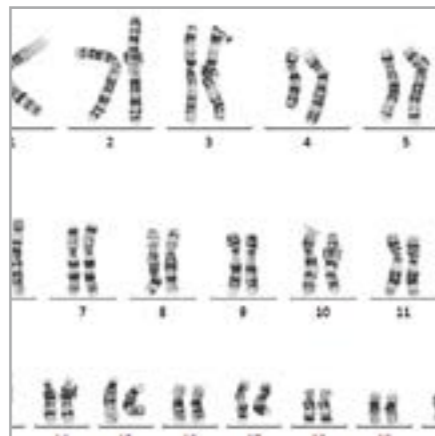


# Ikaros

核型解析と蛍光イメージングのための拡張可能で革新的なソリューションの発見

A vertical software interface for chromosome analysis. It features a dark background with several menu items: 'Obj. Threshold', 'Mask Meta.', 'Delete', 'Separate', 'Check Objects', 'Save', and 'Image Processing'. At the bottom, there are three icons: a yellow circle with the number '3', a chromosome with the number '123', and a printer icon. To the right of the interface, a partial view of a chromosome karyotype is visible, showing chromosomes numbered 7, 13, 14, 19, and 20.



## 核型解析

Ikarosソフトウェアは、直感的なグラフィカルユーザーインターフェースと様々なプロセスツールを統合することにより、核型解析のプロセスの柔軟性を向上させます。操作回数を減らすようにデザインされているIkarosは、手動の核型解析と比較して分析と結果の確認に要する時間を短縮させる可能性があります。

Ikarosは、一般的な染色体分染法（Gバン

ディングやQバンディングなど）を使用して準備されたメタフェーズ（減数分裂中期）のサンプルを評価するのに役立つツールを提供します。また、末梢血や骨髄、羊水、絨毛膜絨毛など、様々な標本タイプに対応しています。

## カラーイメージング

さらに、Ikarosには従来の画像撮影手法の代わりにカラー蛍光モードが搭載されており、時間と手間がかかる暗室での作業

などは不要となっています。カラー画像の取得においては、まず異なる蛍光色のモノクロ画像が連続的に取得され、それらの画像は自動的に組み合わせられて統合されたカラー画像が生成されます。自動積分時間制御により最初のショットから正確な露光が保証され、手間のかかる露光テストや正しい積分時間を決定するための推測が不要になります。これにより、手作業の時間が短縮されるだけでなく標本の寿命も延びます。さらに、他の蛍光色と比較して蛍光シグナルが弱い場合でも鮮明な画像が得られます。

## ラボワイドのソリューション

Ikarosは独立型（スタンドアローン）デバイスとして使用できる一方で、複数のワークステーションが連携して実現される統合イメージングソリューションの環境においてもその高いパフォーマンスが実証されています。したがって、Ikarosを、核型解析ステーション（Ikaros Karyo M）や蛍光イメージングステーション（Ikaros BASE C）およびIkaros Karyo C）、データ管理ステーション、レビューステーション（Ikaros Review）

など様々なセットアップにシームレスに統合させることができます。また、MetaSystemsソリューションの使用により、拡張可能なマルチユーザーネットワークをいつでも拡張して増大するデマンドに対応することが可能です。

## Metafer

画像取得・検出、分類および細胞カウントのためのMetaferソフトウェアと組み合わせることにより、共同作業スペースを立ち

上げることが可能であり、これにより高性能機能にユーザー利便性およびロバストなデータセキュリティが融合します。

## Neon

Ikarosを実行する全てのワークステーションにインストールされているNeonは、ケースデータと画像データを整理するための便利なインターフェースです。外部データベースとのデータ交換のためのインターフェースの最適化は容易です。

# 核型解析

## ハイライト

- 現在使用されている様々なバンディング技術に対応
- 特定の疾患に基づいた制限はなく、羊水や末血、絨毛膜絨毛、骨髄、組織などの様々な標本を染色体バンディング分析に使用
- 組み込まれている複数の機能によりメタフェーズのデータ解釈と核型解析プロセスの合理化をサポート
- 処理手順の継続的なログの維持と元の画像への無制限アクセス
- 異なる取得機能設定間のシームレスな移行が容易であるため明視野と蛍光の切り替えがスムーズ
- ワンクリック取得、自動コントラストエンハンスメントおよび最適な焦点面の選択が備わったオプションの手動画像取得

Ikarosは、培養されかつ染色されたメタフェーズの細胞標本のリアルタイム顕微鏡画像を用いた核型解析に使用することを目的としています。顕微鏡からコンピューターに染色体スプレッドの画像を移す間にかかる手作業は不要になります。核型は、画像処理ソフトウェアのサポートを受けてユーザーによって組み立てられます。得られた結果は印刷物として文書化され、後でアーカイブとして確認できます。





# カラーイメージング

## ハイライト

- 最大12のカラーチャンネルを使用してワンクリックで簡単に画像取得
- 自動積分時間機能により最初のショットで適切な露光を取得
- 暗室での時間のかかる作業が不要
- 選択編集機能を使用した特定のカラーチャンネルもしくは画像内の個々の領域の取得、調整および編集
- 個々の色の個別表示と様々な疑似カラーを選択して可視化
- 処理手順の継続的なログの維持と元の画像への無制限アクセス
- オプションのアップグレードは、カラー核型解析、マルチカラーFISH (mFISH) および独自のマルチカラー染色体バンディング (mBAND) 手法に対応

カラー蛍光モードを使用すると、蛍光顕微鏡画像の取得、処理、アーカイブおよび文書化を迅速かつ容易に実施できます。画像取得からカラー印刷までの全てのステップに要する時間はほんの数分です。画像のエクスポートは柔軟性と利便性が高く、他のグラフィックおよびプレゼンテーションソフトウェアに直接エクスポートできます。





## WORLDWIDE

## OFFICES

### AMERICAS

**USA, Medford**  
info@metasystems.org

**Argentina, Buenos Aires**  
info@metasystems-latam.com

### EUROPE

**Germany, Altlussheim**  
info@metasystems-international.com


**Italy, Milan**  
info@metasystems-italy.com

### ASIA

**China, Hong Kong**  
info@metasystems-asia.com

**China, Taizhou**  
info@metasystems-china.com

**India, Bangalore**  
info@metasystems-india.com

CE  欧州連合 (EU) において Metafer 4.3 および Ikaros 6.3 は、EU 体外診断用医療機器規則 2017/746 もしくは 体外診断薬指令 98/79/EC に各々従い、体外診断医療機器 (IVD, in vitro diagnostic medical devices) として分類され、特に明記されていない限り CE マーキングされています。

Neon は一般的なデータ管理ソフトウェアとして機能します。

MetaSystems 製品は、世界中の多くの国で使用されています。各々の国あるいは地域における規制によっては、臨床診断にご利用できない製品があります。

他のメーカーが提供する一部のハードウェア部品は、MetaSystems IVD 製品に含まれていないため、IVD 医療機器に該当しません。

## CONTACT US

OR YOUR LOCAL  
**MetaSystems**  
REPRESENTATIVE



[metasystems-international.com](https://www.metasystems-international.com)

**MetaSystems Hard & Software GmbH**  
Robert-Bosch-Str. 6  
68804 Altlussheim | Germany

© 2024 by MetaSystems  
Document No. BRO-MS-Ikaros-JP-2024-01-01